

ジュニアスポーツ大会 競技規則

F I Gトランポリン競技規則を参考にし、あくまでも本大会は、その趣旨、歴史、参加者の実態を考慮し実施する。

特に、下記のことについては、重ねて確認します。

《競技方法》

- 1 公益財団法人日本体操協会制定の2025-2028年トランポリン採点規則に準ずるが、一部足立区トランポリン協会ルールを採用する。
- 2 決勝の順位は、1回の自由演技を行い、得点の高い選手が上位となり順位を決定する。
決勝は持ち点0点のリフレッシュスタートとする。
- 3 個人、自由演技のみとする。
- 4 オープンクラスは、T・H得点導入する。オープンクラス以外は、T・H得点導入しない。
但しT・Hの減少に関してはE得点の減少項目において採点する。
- 5 オープンクラス以外は、自由演技1回のE得点及びD得点の合計の高い順に予選順位を決定する。
オープンクラスは、自由演技1回のE得点・D得点・T得点・H得点の合計の高い順に予選順位を決定する。
オープンクラス以外の同点の場合は、①D得点②1審得点の上位の者③2審の得点の上位の者
オープンクラスは、同点の場合は、①T得点②H得点③D得点④E得点の上位の者
- 6 決勝試技順に関して
採点規則2025-2028では、予選5～8位が試技順1～4で抽選、予選1～4位が試技順5～8で抽選となつておりますが、本大会では、下位からとする。
- 7 採点規則2025-2028では各グループの人数を最大12名、としておりますが、本大会においてはその限りではないものとしてグループ分けを行う。

《足立区トランポリン協会ルール》

- 1 「膝落ち」「四つんばい落ち」は、種目としては認められず、行った時点で中断とする。
- 2 オープンクラス以外は、頭が重心の下を通過する種目は禁止とする。
- 3 オープンクラス以外は、タックバウンス・ストラドルバウンス・パイクバウンスは、10種目の中3本まで認める。
但し、4本目以上実施した場合は、総合計得点より3.0減点する。
- 4 オープンクラス以外は、種目のダブルカウントを認めるが、同種目2本目以降の難度点は加算しない。
- 5 服装は運動に適したもの、シューズまた白ソックスを着用。
(違反があつた場合、予選・決勝において、得点合計から0.1減点する)
①オープンクラス以外は、Tシャツ・ハーフパンツ(膝が完全に出てるもの)もしくはスパッツも可。
・スパッツは身体に密着した膝下丈でも可　・スカート付は不可。
②靴下については、ハイソックスは不可。
- 6 オープンクラスのフライタイムはベリーフライ特と採用とする。
不能の場合は、特別ルールとして、フリータイマー計測により一定係数で算出する。